

グループ討議「管理栄養士・栄養士の将来のために、我々が行うべきことは何か」グループ別の意見

G	我々が行うべきこと ●価値・重要度が高い項目	価値・重要度が高い項目を実現するための方法
1	●管理栄養士・栄養士は何をする人かPRする ・政策形成を行う ・研究論文の情報を提供する ・世界のデータ、研究論文の内容を学生に伝える ・最新情報に基づく教科書を作成する	・研究論文を出す ・学生に夢や自身を持たせる ・自分の名刺を出す ・国に政策提言をする ・国民に“美味しく健康な食事”をアピールする
2	●学生に夢を持たせる ・学生(学習障害やメンタルに課題を抱える学生等) ・支援の充実を図る ・学生及び教員の人間性を磨く ・現場の栄養士間での交流、支え合いの仕組みを作る ・より良い教育を行う ・他職種との連携を推進する ・離職率を抑制する ・教員が生き生きと働く	・生き生きと働く管理栄養士・栄養士を見せる ・目の前の人々が喜ぶ・笑顔になる体験をさせる ・コミュニケーションスキルを磨かせる ・臨地実習以外に現場との接点を持つ ・学生時に体験をさせるとともに責任も持たせる ・臨地実習時間を、十分に確保する ・教員と現場とのつながりを密にする ・教員自身のスキルアップを図る
3	●教育の量より質を高める ・教員の教育力を高める ・管理栄養士・栄養士とは何か、一般に周知する ・臨地実習の評価基準、評価方法を検討する ・管理栄養士業務のエビデンスを作る ・世界、国内の管理栄養士の位置づけを知る ・管理栄養士業務の問題点を把握する ・養成校教育の充実(使命・意義・役割の理解、モチベーションアップ)	・臨地実習の評価基準を標準化を検討する ・教養教育を充実し人間力を高める ・職業倫理教育を行う ・実践活動をしている先輩から業務を知る機会を設ける ・管理栄養士業務のエビデンスを作る ・導入教育を充実させる ・教員間で授業内容をすり合わせる ・養成校教員と現場管理栄養士・栄養士と情報交換を行う
4	●管理栄養士・栄養士の社会的認知度を高める ・良い管理栄養士・栄養士を育てる ・管理栄養士・栄養士になりたいという意欲を高める ・給料を上げる ・他職種と対等に渡り合えるようエビデンスを作る ・栄養士は何をする人というモデルを作る ・学問体系を整える ・養成校内でカリキュラムの連携を図る	・ナイチンゲールのような象徴となるモデルを作る ・管理栄養士・栄養士が、エビデンスを作る ・他職種の中で果たす役割を示す ・卒後教育の中で研究への取組みを推進する ・現場のデータをまとめる ・コミュニケーション力を育てる ・卒後、母校との連携を進める ・管理栄養士・栄養士のできることをアピールする
5	●職場環境の整備(一人職場をなくす)を図る ・地域住民の健康づくり(公衆栄養)を行う ・職域にあった専門的な教育を行う ・卒前に、現場でエビデンスを出せるような教育を行う ・人間教育・社会教育・倫理教育を行う ・学生に夢や希望を持たせる ・国試と現場のギャップを埋める ・臨地実習に教員も参加するようなシステムを作る	・行政に働きかける ・組織力を上げる(会員数の増加等) ・潜在管理栄養士・栄養士を減らす ・現場の管理栄養士・栄養士の活躍をPRする ・管理栄養士・栄養士の活躍や貢献を示す ・プロとしての誇りを持つ ・アウトカムを出す ・他の施設との連携を深める
6	●公益性を高める ・現場と養成施設が連携し、卒後の人材育成システムを構築する ・教員を資質向上を図る ・管理栄養士・栄養士の給与面を改善を図る ・養成施設で、コアカリを軸とした教員間の意識統一を図る ・一般の方が求める栄養士像に沿って対応する ・エビデンスの構築(研究教育)を充実する ・職域を越えた全国規模での情報交換の場を作る	・栄養に関する研究を充実させ発信する ・他職種との連携を図る ・大学が地域と連携し、地域貢献を行う ・栄養士会会員数の増加に努める ・一般が期待する栄養士像が明確になる教育をする ・他の職域や職種との交流、研修会を開催する

G	我々が行うべきこと ●価値・重要度が高い項目	価値・重要度が高い項目を実現するための方法
7	●管理栄養士・栄養士像を明確にする ・導入教育を取入れる ・栄養士の魅力をつかませる ・就職先を開拓する ・社会及び学生に、栄養士の活躍の場を伝える ・臨地実習の環境整備を行う ・ボランティアを通して地域貢献を行う ・自己実現を図るための個性化を図る	・健康、栄養の基本を押さえつつ、各分野の業務を知らせる ・OB、OGガイダンスで栄養士像の講話の機会を設ける ・栄養士会のリーフレットを活用する ・キャリア教育の中に管理栄養士・栄養士の教育を取入れる ・キャリア教育と専門教育の融合を図る
8	●管理栄養士・栄養士の社会的評価を高める ・社会で認められるような学生教育を行う ・教員の資質向上(特に、実務能力)を図る ・学生教育(モチベーションアップ教育、人間教育等)を充実する ・離職の原因を究明し、対策を講じる ・教育に、アクティブラーニングを取入れる ・栄養士会に入会するメリットを伝える	・アクティブラーニングなどで、学生の自信や成功体験をもたせる ・学生教育の充実(問題点を積極的に改善していく力の育成) ・学生教育の充実(積極的に発信できる力の育成) ・学生教育の充実(学生のモチベーションを高める) ・授業で不十分なところを、初年次教育や家庭学習で補う ・栄養士の配置数を増やす ・地域への貢献、広報を積極的に行う
9	●学生のモチベーションを上げる ・管理栄養士・栄養士の役割や業務分担を明確にする ・管理栄養士・栄養士の社会に対する貢献度を示す ・エビデンスを構築する ・専門職として質を高める教育をする ・1年生から学習の到達点を定める ・日本の成功体験を示す	・管理栄養士・栄養士の価値をアピールする ・カリキュラムを見直す ・臨地実習のあり方や進め方を検討する ・体験を通して使命感を伝える ・地域貢献を行う
10	●管理栄養士・栄養士の認知度を高める ・管理栄養士・栄養士の仕事を教える ・社会のニーズをとらえる ・生涯教育などで勉強をし向上心を持つ ・学生の学習意欲を高める ・他職種、他業種との交流、インターンシップを図る ・学生の学力をレベルアップを図る	・活躍を外部にアピールする ・活躍を内部(学内学生等)にアピールする ・他職種の仕事を理解する ・コミュニケーション能力を高める ・他の職種と異なる強みを作る ・アプローチの仕方を考える
11	●管理栄養士・栄養士の倫理観を養う ・情報の選び方や伝え方を教える ・調理技術を身に着ける ・学生のモチベーションを上げる ・管理栄養士・栄養士の仕事のやりがいを感じさせる	・実体験を話し合う(栄養や健康の価値等) ・食べ物が命にかかわっていることに気づかせる ・食べ物が命にかかわることに対し、学生には重すぎる場合もあることを理解する ・学生教育で、知識や技術の適正な評価、フィードバックを行い、自信を持たせる
12	●管理栄養士・栄養士の活躍の場を拡大・創出する ・導入教育で仕事の魅力を伝える ・なぜ食べるか等、哲学的な視点で考える ・教育者のレベルアップを図る ・一般社会や他職種に情報を発信する ・地域や文化を背景にした料理力を養う ・管理栄養士・栄養士としての自覚を高める ・学生に企画力を培う	・仕事を整理する ・栄養素から一歩離れて、今までにない発想をする ・栄養士の原点「食べる」を念頭におく? ・各養成施設で、地域文化の伝承を行う ・食の魅力を考えさせる ・大学をステーションとし地域の人の近くに管理栄養士がいる ・環境を作る ・調理力を高める ・食品開発を進める

価値・重要度が高い項目を実現するための方法(1～12G の意見を合体)

価値・重要度が高い項目を実現するための方法 (1～12G が記載した内容)	カテゴリー(大項目)
・カリキュラムを見直す ・教員間で授業内容をすり合わせる ・職業倫理教育を行う ・導入教育を充実させる ・体験を通して使命感を持たせる ・実体験を話し合う(栄養や健康の価値等) ・目の前の人が喜ぶ・笑顔になる体験をさせる ・コミュニケーション能力を高める ・コミュニケーション力を育てる ・学生教育の充実(問題点を発見し、積極的に改善していく力の育成) ・学生時に体験をさせるとともに責任も持たせる ・授業で不十分なところを、初年次教育や家庭学習で補う ・教養教育を充実し人間力を高める ・食べ物が命にかかわっていることに気づかせる ・食べ物が命にかかわることに対し、学生には重すぎる場合があることも理解する	専門職業人養成教育の充実 ・職業倫理教育 ・導入教育(初年次教育) ・体験学習の導入 ・コミュニケーション力 ・問題発見力・解決力 ・教養教育の充実 ・人間力の育成 ・医療職性の認識
・学生に夢や自身を持たせる ・ナイチンゲールのような象徴となるモデルを作る ・生き生きと働く管理栄養士・栄養士を見せる ・一般が期待する栄養士像が明確になる教育をする ・OB, OGガイダンスで栄養士像の講話の機会を設ける ・キャリア教育と専門教育の融合を図る ・キャリア教育の中に管理栄養士・栄養士の教育を取り入れる ・栄養士会のリーフレットを活用する ・実践活動をしている先輩から業務を知る機会を設ける ・健康、栄養の基本を押さえつつ、各分野の業務を知らせる ・アクティブラーニングなどで、学生の自信や成功体験をもたせる ・教育で、知識や技術の適正な評価、フィードバックを行い、自信を持たせる ・学生教育の充実(学生のモチベーションを高める) ・プロとしての誇りを持つ	・夢の育成 ・管理栄養士・栄養士像の明確化 ・キャリア教育と専門教育の融合 ・成功体験 ・自信・モチベーション向上 ・プロフェッショナルマインド
・管理栄養士・栄養士が、エビデンスを作る ・現場のデータをまとめる ・研究論文を出す ・卒後教育の中で研究への取組みを推進する ・栄養に関する研究を充実させ発信する ・国民に“美味しく健康な食事”をアピールする ・アウトカムを出す ・卒後、母校との連携を進める ・管理栄養士業務のエビデンスを作る ・食の魅力を発信する	エビデンスの構築と発信
・他の職種と異なる強みを作る ・管理栄養士・栄養士のできることをアピールする ・地域への貢献、広報を積極的に行う ・活躍を外部にアピールする ・活躍を内部(学内学生等)にアピールする ・管理栄養士・栄養士の価値をアピールする ・自分の名刺を出す ・現場の管理栄養士・栄養士の活躍や貢献をPRする ・学生教育の充実(積極的に発信できる力の育成)	公共への積極的PR 社会的評価・認知度向上

価値・重要度が高い項目を実現するための方法（1～12G が記載した内容）	カテゴリー（大項目）
・臨地実習時間を、十分に確保する ・臨地実習のあり方や進め方を検討する ・臨地実習の評価基準や標準化を検討する	臨地・校外実習の評価基準設定、標準化
・教員と現場とのつながりを密にする ・養成校教員と現場管理栄養士・栄養士と情報交換を行う ・臨地実習以外に現場との接点を持つ ・他の施設との連携を深める ・教員自身のスキルアップを図る	教員と現場栄養士との連携強化
・他職種との連携を図る ・他職種の仕事を理解する ・他職種の中で果たす役割を示す ・他の職域や職種との交流、研修会を開催する	他職種との連携・交流・研修会
・大学をステーションとし地域の人の近くに管理栄養士がいる環境を作る ・各養成施設で、地域文化の伝承を行う ・大学が地域と連携し、地域貢献を行う ・地域貢献を行う	大学版栄養ステーション 地域連携事業の推進
・仕事を整理する ・栄養素から一歩離れて、今までにない発想をする ・栄養士の原点「食べる」を大切にする ・調理力を高める ・食品開発を進める	活躍の場の拡大・創出
・組織力を上げる（会員数の増加等） ・潜在管理栄養士・栄養士を減らす ・栄養士会 会員数の増加に努める	栄養士会入会の推進 組織力強化
・栄養士の配置数を増やす ・国に政策提言をする ・行政に働きかける	国（政策）への働きかけ